

国語「平成31年度重点」授業構想シート

月 日 ()	学校	年 組	授業者	
単元名 (題材)				

国 語	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 本県の課題 </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 目指す子供の姿 </div>
	<ul style="list-style-type: none"> ◆文章の内容や表現の特徴・効果を捉え、目的や意図に応じ、条件に即し表現することに課題がある。 ◆目的に応じて、複数の資料を結び付けながら読んだり、必要な情報を根拠として自分の考えを深めたりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章を読んで理解し、そこから考えたことを、目的や意図に応じて話したり書いたりして伝え合う中でより明確にしたり深めたりすることができる。 ○複数の本や資料を読み、課題解決のために必要な情報を選び、効果的に活用することができる。

①言葉による見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びの実現となるよう工夫改善を図った学習指導の充実

- ◇言語活動を通して、国語科の資質・能力を身に付けることができるよう、課題設定や学習指導過程、学習指導・支援の方法などを工夫するとともに、身に付けた国語科の資質・能力を子供が自覚できるようにする。
- ◇言葉による見方・考え方を働かせ、言葉の特徴や使い方などを問い直し意味付ける中で、語彙を豊かにし、言葉への自覚を高め、自分の思いや考えを深める学習の充実を図る。

②目的に応じ、複数の文章や資料を読む活動の充実

- ◇複数の文章や資料から必要な情報を取り出し、それらを比較したり関係付けたりするなど情報と情報の関係を理解する活動や、速読・摘読など効果的な読み方を工夫する活動を取り入れる。
- ◇図書館を利用し、様々な本などから情報を得て活用する読書習慣の定着につながる学習を充実させる。

1 言葉による見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びの実現となるよう工夫改善を図った学習指導の充実

- ①育成を目指す国語科の資質・能力に最適な言語活動
 - 本単元で育成を目指す国語科の資質・能力 ※新学習指導要領の指導事項を踏まえて
 - []
 - その育成に最適な言語活動 ※目的や必要性が意識できるよう
 - []
 - 課題設定や学習指導過程の工夫 ※子供にとっての課題解決や探究の過程となるよう
 - []
- ②育成を目指す国語科の資質・能力を身に付けさせるための具体的な指導・支援
- []
- ③言葉による見方・考え方を働かせる場面や方法
- []
- ④身に付けた国語科の資質・能力を子供自身が自覚できる場面や方法
- []

2 目的に応じ、複数の文章や資料を読む活動の充実

- ①本単元で扱う図書や資料と効果的な読み方
- []
- ②図書館の利用など読書習慣の定着につながる学習活動の工夫
- []

国語「平成31年度の重点」授業改善シート

月 日 ()	学校	年 組	授業者	
単元名			記入者	

本県の課題

- ◆文章の内容や表現の特徴・効果を捉え、目的や意図に応じ、条件に即し表現することに課題がある。
- ◆目的に応じて、複数の資料を結び付けながら読んだり、必要な情報を根拠として自分の考えを深めたりすることに課題がある。

目指す子供の姿

- 文章を読んで理解し、そこから考えたことを、目的や意図に応じて話したり書いたりして伝え合う中でより明確にしたり深めたりすることができる。
- 複数の本や資料を読み、課題解決のために必要な情報を選び、効果的に活用することができる。

国語

①言葉による見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びの実現となるよう工夫改善を図った学習指導の充実

- ◇言語活動を通して、国語科の資質・能力を身に付けることができるよう、課題設定や学習指導過程、学習指導・支援の方法などを工夫するとともに、身に付けた国語科の資質・能力を子供が自覚できるようにする。
- ◇言葉による見方・考え方を働かせ、言葉の特徴や使い方などを問い直し意味付ける中で、語彙を豊かにし、言葉への自覚を高め、自分の思いや考えを深める学習の充実を図る。

②目的に応じ、複数の文章や資料を読む活動の充実

- ◇複数の文章や資料から必要な情報を取り出し、それらを比較したり関係付けたりするなど情報と情報の関係を理解する活動や、速読・摘読など効果的な読み方を工夫する活動を取り入れる。
- ◇図書館を利用し、様々な本などから情報を得て活用する読書習慣の定着につながる学習を充実させる。

1 言葉による見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びの実現となるよう工夫改善を図った学習指導の充実	
①育成を目指す国語科の資質・能力に最適な言語活動を位置付け、単元を構想している。	4 - 3 - 2 - 1
②育成を目指す国語科の資質・能力の定着を図るため、活用したり繰り返したりするなど学習指導過程を工夫している。	4 - 3 - 2 - 1
③課題を子供自身に意識させ、見通しをもって課題解決に向かわせている。	4 - 3 - 2 - 1
④言語活動を通して国語科の資質・能力を身に付けることができるよう、「学習の手引き」などの個に応じた指導・支援を行っている。	4 - 3 - 2 - 1
⑤言語活動の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を捉えたり、問い直したりして、語彙を豊かにし、言葉への自覚を高めるための指導・支援を行っている。	4 - 3 - 2 - 1
⑥身に付けた国語科の資質・能力や学びを子供が自覚できるように、振り返り活動を充実させるとともに、評価の工夫改善を行っている。	4 - 3 - 2 - 1
2 目的に応じ、複数の文章や資料を読む活動の充実	
①複数の文章や資料から必要な情報を取り出し、比較したり関係付けたりする活動や、速読・摘読など効果的な読み方を工夫する活動を取り入れている。	4 - 3 - 2 - 1
②図書館等を利用するなど、読書習慣の定着につながる学習活動を行っている。	4 - 3 - 2 - 1
[メモ]	